

(様式 1)

2024年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名： 財務会計論特論	
担当教員名： 金子 輝雄	
授業科目概要： 企業会計制度を研究する場合、まず、企業をどのように捉えるかという問題がある。従来は、新自由主義経済思想の影響もあって、投資の対象としての企業という見方が大勢であった。企業を規制するというよりはむしろ、環境を整備し、企業の成長発展を支援し、その波及効果で庶民にも恩恵がもたらされると説かれてきた。しかしながら、例えば雇用調整を意図した非正規雇用の拡大が日本経済に長期的な低迷をもたらしたのではないだろうか。企業会計もこれまでのような株主・投資家のための資本利益計算の会計から、SDG s を取り入れた新たな会計モデルに移行しなければならない時期が到来している。この新しい会計モデルでは、企業は、地域社会、自然環境、労働者等のステークホルダーの中心に据えられ、社会的付加価値の生産の場として位置づけられ、そこでの会計は損益の測定から付加価値の算出・分配のためのシステムとして理解されることになる。つまり、資本のための会計から人間のための会計へと移行するのである。本講義では、このような新しい会計モデルを取り上げて検討する予定である。また、新しい会計モデルに依拠する所得課税制度についても議論したい。すなわち、キャッシュ・フロー法人税や受取配当金の益金不算入制度の廃止による経済的影響などについてである。	
履修上の留意事項： 討論テーマについて毎回、予習していただきたい。 統計的手法を使った実証研究は行わない。	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：『社会・企業の変革とSDG s』 著者／編者：小栗崇資 出版社：学習の友社 出版年：2023年	書名：『田中治税法著作集』第1巻 著者／編者：田中治 出版社：清文社 出版年：2021年
評価方法及び判定基準： 授業での質疑応答50% 課題レポート50%	
授業目標及び進め方： 目標：現代財務会計制度および所得課税制度の問題点を考える。 進め方：上記文献を輪読する形で、毎回、テーマごとに討論を行う。 また、受講生の研究テーマに合わせて、講義内容を若干、変更してもよいと考えている。確定決算基準の問題にあるように、今後、税と会計の関係は重要な検討課題になってくる。	
第1回	テーマ：世界変革を目指すSDG s 内容：SDG s について 教科書／参考書 第1章

(様式 1)

第 2 回	テーマ：EU と日本のSDGs比較 内 容：社会変革とSDG s 教科書／参考書 第2章
第 3 回	テーマ：SDG s と社会理論 内 容：社会的意識・疎外・国家 教科書／参考書 第3章
第 4 回	テーマ：社会理論から見たSDG s 内 容：社会理論と変革論 教科書／参考書 第4章
第 5 回	テーマ：企業改革論 内 容：資本論における企業論 教科書／参考書 第5章
第 6 回	テーマ：企業の変革とSDG s ア（その1） 内 容：会社制度・人権・環境 教科書／参考書 第 6 章
第 7 回	テーマ：企業変革とSDG s（その2） 内 容：情報開示・会計・経営戦略 教科書／参考書 第 7 章
第 8 回	テーマ：SDG s にどう取り組むべきか 内 容：政府・自治体、団体。 教科書／参考書 終章
第 9 回	テーマ：税財政と法 内 容： 教科書／参考書 第1章
第10回	テーマ：持続可能な社会と税財政法の課題 内 容： 教科書／参考書 第2章
第11回	テーマ：米国における財政改革と法的統制 内 容： 教科書／参考書 第 3 章
第12回	テーマ：租税法律主義の現代的意義 内 容： 教科書／参考書 第 4 章
第13回	テーマ：租税回避と法 内 容：同族会社の行為計算否認規定の発動要件と課税処分取消訴訟 教科書／参考書 第 7 章
第14回	テーマ：租税回避と法 内 容：所得税における同族会社の行為計算の否認規定 教科書／参考書 第 8 章

(様式 1)

第15回	テーマ：租税回避と法 内 容：租税回避否認の意義と要件 教科書／参考書 第9章
------	---